

テレビ東京「日経スペシャル」連動広告企画 第14回

27日の放送テーマ

街は巨大な広告だ 情報発信基地シブヤ

「キーワードで読む日経スペシャル ガイアの夜明け」はテレビ東京系列で放映中の番組「日経スペシャル ガイアの夜明け」と連動した紙面企画です。番組テーマに関連したキーワードについて多角的に解説することで番組への理解をより一層深めます。27日放送のテーマは「街は巨大な広告だ 情報発信基地シブヤ」。ここから「活性化へ自己主張」をキーワードに、さまざまな文化が交差する東京・渋谷の姿を展望します。



広告効果日本一といわれる渋谷ハチ公前交差点

日経スペシャル キーワードで読む ガイアの夜明け

「ビル」の谷間を、渋谷川が流れる。東急東横線は渋谷駅を出発するとしばらく高架を走るが、そのすぐ脇を流れる川である。東横線渋谷駅横の稲荷橋の付近で、暗きよから顔を出す。電車のガードとビルに挟まれ、兩岸をコンクリートで固められ、そのはるか下に川床が走る「どぶ川」である。先月末の夜、この「どぶ川」が、うす明るい二本の光の列でほんのりと照らし出された。一つの光の列は風船の中にライトを入れた明かりで、風のままにゆらゆら揺れる。もう一つは青竹の株に明かりを入れた竹灯籠だ。並木橋に至る四百ほどにわたり、暗がりの中で川が魂をもち、自己主張を始めた。

川を舞台に光や風の芸術作品 清掃運動から一歩進めた提案へ

「残したいもの」では、駅前直伝用のティッシュを配る「ティッシュ娘」、金王八幡神社の鳥居と参道、道路横に出店する屋台、壁面に描かれるポップな落書き、バーの店先の看板などが投稿され、「残したくないもの」としては、歩道橋やパーキングメーターなどが多かったという。ここから渋谷の未来が見えるか？

Comment



井口 典夫 青山学院大学教授

コンテンツから 街の将来設計を

「渋谷はこう変わりますか？」 東横線の地下化を契機に渋谷全体をどう変えるか、いろいろな議論が起きている。行政、関係企業などは、車と人の通行を便利にするため、駅前広場はデッキでふたを向のようだ。しかし、これでは渋谷の「谷」は消滅し、全国どこにもある平仮名街となる。恐らく街の活力は失われる。街に生きる多くの人々の危機意識や夢を反映させようとして「まちづくり協議会」の活動を支援し、自らも「渋谷・青山まちづくり研究会」を設立し、行動を始めている。

渋谷には四つの顔がある。六本木通りなどの幹線道路と山手線によって分けられる各ブロックだ。それぞれ個性が違ふ。道玄坂周辺は歓楽街、青山方面は教育・文化・ファッション、幹線道路の南側は混雑し、外側は業務・オフィス街として成長を続けている。

活性化へ自己主張

「コギヤル」が占領する若者ファッションの最先端の街&ハイテクベンチャーのビジネス拠点。イメージをくるくる変えてきた「渋谷」が再び大きく変貌(へんぼう)する分かれ道にきている。テレビ東京系列で毎週火曜日放送の日経スペシャル「ガイアの夜明け」の二十七日放送では、「シリーズ街を考える」として「渋谷」を取り上げる。本紙特集では、その歴史や渋谷の未来を考えてみる。

History

米軍用地返還を境に大きく変貌 二つの側面から今、再開発も浮上

渋谷は「谷」である。渋谷駅を降りてぐるりと歩き回ってみると周囲は上り坂だらけだ。その底に渋谷駅がある。駅前から西に向かうと道玄坂の商店街を上って映画館や飲食街などが立ち並び歓楽街の入り口につながる。昔ながらの渋谷の繁華街。反対方向、東に向かうとファッションの街、青山につながる宮益坂のきつい傾斜だ。振り返ると、坂の下に駅周辺が見下ろせる。



Table with 2 columns: Year and Event. It lists key events in Shibuya's history from 1945 to 2000, such as the completion of the Shinjuku Expressway and the opening of the Shibuya Center City.

この立ち入り禁止の敷地に阻まれていた。一気に転回するのは、米軍用地の返還後だ。民放テレビの公開番組として多用されることになる渋谷公会堂やNHK放送センターが建設され、渋谷駅からの上り坂は「レレレ」番組を見に来る若者でまた返した。放送センターと同じ一九七三年、坂の途中に若者向けファッションをとりそめた渋谷パルコが開店し、渋谷が全国に注目された。

谷駅からNHKに至る公園通りが若い渋谷の顔になる。九〇年代中ごろ、二つの側面から渋谷が全国に注目された。

情報技術(IT)ベンチャーが渋谷一帯に次々と誕生した。楽天、サイバーエージェントなど上場企業も輩出、熱気を帯びた。米国のハイテク集積地シリコンバレーにない、「渋谷」を英語にして「ビターバレー」と名づけたが、これでは「一敗地にまみれる谷間」になってしまふというので、これを縮めて「ビットバレー」と改名した。1か0かのデジタル情報の最小単位「ビット」にも引っかけ、一時は六百ものITベンチャーが活動した。現在、井の頭線渋谷駅に立った高層ビル「マークシティ」にITベンチャーの熱気が残る。

そしていま、渋谷の未来を案ずる計画が進行中だ。山手線の内側を通る明治通りの下を地下鉄が貫き、渋谷から東横線に乗り入れることになる。東横線渋谷駅は明治通りの地下に潜り込み、大規模な開発計画が出現することになる。この再開発を通じて、渋谷はこう変わるのか。

本格的経済ドキュメンタリー番組 「日経スペシャル ガイアの夜明け」

案内人/役所広司 ナレーター/蟹江敬三

火曜よる 10時

- テレビ東京・テレビ北海道・テレビ愛知・テレビ大阪・テレビせとうち・TVQ九州放送
●BSジャパン(水曜よる7時55分)
●日経CNBC(土曜よる12時)

インターネットで詳しい情報をご覧ください。 http://www.tv-tokyo.co.jp/gaia



提供スポンサー

- 大和証券グループ Canon YAMADA 三共 中央経済社 BRIDGESTONE ピーシーエー 村田製作所 日本経済新聞社